

港区立白金の丘小学校
令和元年度 授業改善推進プラン

1 区学力調査、児童・生徒の学力向上を図るための調査の結果を踏まえた課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 題意を読み取ることが難しい。物語の読み取りよりも、説明文の読み取りにやや課題がある。 ・ 気持ちを想像して書くことが苦手な児童がいる。 ・ 要点をまとめながら書くことや、要旨をつかんでまとめることに課題がある。 ・ 自分の考えが明確になるように具体的に書いたり、経験したことを文で表現したりすることに課題がある。 ・ 事実や理由と区別したり順序立てたりして書くことに課題がある。 ・ 内容を比べたり、自分の考えと共通点や相違点を見つけたりすることに課題がある。 ・ 話し手の意図を考えながら聞くことや内容を理解しながら聞くことに課題がある。 ・ 漢字の定着や指示語の理解が不十分である。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知識の定着について、個人差が見られる。 ・ 写真や絵・図などの資料の中から、事実を読み取り正しく分析することに課題がある。 ・ 読み取ったことを基に、考察を書いたり、表現したりすることに課題がある。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時計やかたちなどの学習に課題がある。 ・ 文章問題の図式化をすることや図表の読み取りに課題がある。文章問題から必要な情報を読み取ること に苦手な傾向もある。 ・ 数直線の読み取りに課題がある。 ・ 日常生活の場面と学習内容が結びついていない。 ・ 繰り上がりのある足し算や波及的繰り下がりのある引き算の問題に課題がある。 ・ 量と測定学習では、身近にあるものの重さを推察する問題の正答率が低い。 ・ 一定時間前後の時刻を求める問題の正答率が低い。 ・ 数学的な考え方に課題がある。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知識の定着・実験器具の使い方の定着に個人差がある。 ・ 知識を活用して思考を深めたり、日常生活場面などにその成果を活かしたりするところまでには至らない。 ・ 実験の計画を立てる際に、条件を制御することが、適切な実験につながることを理解していない。 ・ 自然事象について獲得した知識を用いて説明することや思考を働かせて事象を推測することが課題である。

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	内容や事柄を正確に理解する資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 説明文に触れる機会を多く設定したり、短い説明文で要点をつかむ練習を積みせたりする。 ・ 指示語の理解が不十分な学年については、定期的に授業の中で言葉の学習を取り入れていく。 ・ 聞く能力は、全ての学習の基本となるので、全ての教育活動においてその都度指導していく。
	内容や事柄を適切に表現する資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 項目ごとにメモを書いてから文を書くなど、段階的に書く工夫をする。 ・ 週末日記や行事ごとの絵日記、作文指導など、様々な場面で自分の考えを書く機会を増やす。 ・ 事実と自分の意見を区別して書くことに課題がある。観点を絞ったり順序を意識させたりしながら、他教科においても書く活動を多く取り入れていく。

会社	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
----	-------------	----------------------

<p>既習事項や経験と関連付けて考える 資料を読み取り、問題点を見つけ意識する力 資料活用の力 関連付けた内容を表現する力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童同士の意見交流やペア、グループ学習を通して学び合える授業を展開する。 ・知識については、個人差が見られるため、体験的な活動やICTを用いて理解を確実にしていく。 ・写真や絵などの資料の中から、事実を読み取ったり、考察を書いたりすることが課題となっている。資料を活用した学習を単元ごとに実施することで資料活用の力を高めていく。 ・学習のまとめの活動を工夫し、様々な表現方法を身に付けていくようにする。
---	---

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	<p>時計やかたちなどの概念を理解する力 文章を読み解く力 課題解決を目指す思考力・応用力 図表を読み解く力 日常生活の場面と学習内容を結びつける力 量的感覚を養う力 学習過程を表現する力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○実際の生活で生かせるように具体物を操作させる。 ○問題文から加法の場面と減法の場面を正しく判断できるようにするため、具体物や半具体物を用いて課題把握をさせる。 ○数学的な考え方を養うため、自ら課題を発見し、解決の見通しを立て、様々な方法で解決してそれを分類・整理するという学習活動を取り入れる。 ○1 目盛がいくつを表しているのかを確認しながら学習を進めていく。 ○問題と図を繰り返し対応させたり、必要な情報を読み取ったりすることは苦手な傾向がある。必要な情報に線を引いたり、抜き出したりして、問いと文章を対応させる指導を行う。 ○身近な物の重さに関する量的感覚を養うため、家庭学習に取り入れる。 ○答えを導く過程を児童が表現するような学習形態を実施し、答えだけでなく、算数的な思考の力を伸ばす学習を行う。 ○視覚的なイメージをもって学習をすすめていけるように学校全体で算数的活動を統一していく。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	<p>理科的視点から問題を読み解く力 実体験を科学的な見方に変換する力 根拠をたてて問題を解決する力 既習事項から分の内容を類推する力 条件を制御しながら計画を立て適切な実験を行う力 獲得した知識を様々なことに生かす力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のまとめで練習問題に取り組み、理科の語彙を増やし、問題を読み取る力を高めていく。 ○観察、実験などの活動を通して、少しずつ科学的な見方や考え方に変容させたり、習得した知識や技能を用いて思考させる活動を取り入れたりして、自らが問題を解決していく力を育てていく。 ○児童が何らかの生活経験や学習経験を思い出しながら、予想の根拠をまとめられる学習展開を行う。 ○児童の身の回りにあるものや既習事項を活かして、学習問題の提示の方法や文脈の設定を工夫する。 ○実験を計画する際に条件を制御することが、適切な実験につながることを実感させ、条件制御の意味とその価値について理解させる指導を行う。 ○単元のまとめで行う考察において、児童が獲得した知識を自然事

	象や日常生活と関係づけることができるよう、観点を示すなどの指導上の工夫を行う。
--	---

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
生活	見通しをもって学習を行う力 気づきの質を向上させ、学びを深める力 学びあいの力 学習の系統性を意識する力	<ul style="list-style-type: none"> ○子供たちの思いや願いを生かした授業づくりをするとともに、振り返りの時間をしっかりととり、次時の授業の見通しをもてるようにしていく。 ○活動中の言動を丁寧に見取り、子供たちの気づきを価値付けたり、友達との交流場面を設定したりすることで気づきの質を高めていく。 ○振り返りの時間を多くし、児童が学習中に気付いたことや思ったこと、考えたことを自覚したり、友達と交流をしたりする機会を増やす必要がある。 ○第3学年の理科や社会科への移行を円滑に行うために、経験したことや考えたこと思ったことを表現し友達に伝える機会を多くし、その際、観察の視点や記録、表現の仕方、グループワークの仕方を指導する。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
音楽	技能を高めあう力 音楽に関連する言語能力、表現力 発展させ形作る力	<ul style="list-style-type: none"> ○子供同士の教え合いの活動を多くして、学級や学年全体の技能を高めるようにしていく。 ○様々な学習形態で言語活動を多く取り入れる。(ワークシート、ペア学習、グループ学習等) ○音楽づくりなどで既習事項を活用した表現の工夫などを行う。 ○器楽においては個別指導を行い技能面の差異が広がらないようにしていくとともに子供達同士の教え合う活動や音楽を発展させる活動を数多く行っていく。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
図工	ものづくりの楽しさを味わう力 思いや意図を具現化する力 考えたことを実現する技術力 作品のよさや美しさを味わい共感する力 製作意欲を高めていく力	<ul style="list-style-type: none"> ・作り上げる喜びや、完成への見通しをもたせた指導計画設定する。 ・系統的に行われてきた繰り返しの指導や活動時間の確保により、着実な技術の習得を行う。 ・言葉で設計図を作ったり、どの学習でも完成のイメージ作りをおこなったりして具現化の力を高めていく。 ・友だちの作品にも関心を寄せ、よいところを自分の作品に取り入れたり、鑑賞会などを通して友達のよさに気が付けたりできるようにする。 ・実際に試しながら発想を広げたり、自分のイメージをもちながら意味や価値を作り出したりする表現活動と、身近なものや作品などのよさや美しさを感じ取り、見方を

		深める鑑賞活動を関連させ、つくりだす喜びを味わえるような指導を行う。
--	--	------------------------------------

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
家庭	学習を家庭生活に生かす力 生活経験を補い、学習を深める力	○知識理解とともに実習や観察などの体験的な学習を多く取り入れることで、その差を縮め、自ら家庭生活に関わろうとする姿勢を育てていく。 ○知識理解とともに実習や観察などの体験的な学習を多く取り入れることで、その差を縮め、自ら家庭生活に関わろうとする姿勢を育てていく必要がある。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
体育	基本的な動きの習得 ・走る ・投げる ・ゲーム運動 ・泳ぐ ・跳ぶ	○走力や投力を向上させるために、継続的に走り方や投げ方を指導する。また、休み時間に校庭でたくさん走ったりボールを投げたりすることができる機会を増やす。 ○投げる・捕る・体を支えるなどの動きを身につけるためにゲームや運動を取り入れて学習を進める。 ○走力、投力、跳躍力、泳力に関しては、個人差が大きいいため、一人一人が正しい動き方を理解しながら取り組めるようにする。また、中学校教諭をゲストティーチャーとして入ってもらい、より専門的な指導ができるようにする。 ○学習カードを用いて、技能ポイントや友達の上質な動きを意識させて、思考力・判断力を身に付けていく。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国際	意欲的にコミュニケーションをとる力 学習内容を積み立てる力 楽しみ表現する力 外国語のイメージを具現化する力	○NTの説明を理解できず、自信をなくしたり、学習に消極的になったりする児童には、担当が簡単な英単語を使って説明することや、ジェスチャーで児童の理解を促しながら学習を進めていくようにする。 ○毎時間振り返りカードを書くことにより、学習内容の復習になっており、知識の定着にもつながっている。 ○会話をしようとする児童が大半だが、意欲的になれず苦手意識をもつ児童もいる。全ての児童が積極的に活動に取り組めるよう、一つ一つのアクティビティやゲームをきちんと児童が理解してから取り組んだり、T3体制を生かして個別に支援をしたりしていく。 ○学習活動への意欲を高めるため、ゲーム性のある活動や歌を取り入れる。 ○チャンツや歌を繰り返し練習することによって、音やリズムの定着を図る。 ○一方で、「話す」やり取りに自信をもてない児童もいる。全ての児童が積極的に活動に取り組めるよう、一つ一つのアクティビティやゲームをきちんと児童が理解してから取り組んだり、T3体制を生かして個別に支援をしたりしていく。 ○「書く」「読む」学習も適宜取り入れていきながら、総合的な力

	<p>を伸ばしていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○意欲の高まりにつながるようなアクティビティやチャンツを毎時間取り入れていく。 ○全ての児童が積極的に「話す・聞く」ができるよう、一つ一つのアクティビティやゲームをきちんと児童が理解してから取り組んだり、T3体制を生かして個別に支援をしたりしていく。 ○「書く」「読む」学習も適宜取り入れていながら、総合的な力を伸ばしていく。 ○意欲の高まりにつながるようなアクティビティやチャンツを毎時間取り入れていく。
--	--

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
道徳	価値を捉え理解する力 道徳的価値を深める力 他者の立場に立って考える力 共感する力	<ul style="list-style-type: none"> ○登場人物が多い読み物の場合は掲示物を工夫しながら正しく理解できるような学習環境を整えていく。 ○価値理解、自己理解、他者理解ができるようにしていく。 ○授業で深まったことを日常生活で生かそうとする態度を育てるために、学習後に生かすことができているかの振り返りの時間を設けたり、学習内容を日々の生活で振り返ることができる学習カードを用意して取り組ませたりしていく。 ○教材文の登場人物に共感し、これまでの自分の経験やそのときの感じ方に照らして考えることができるが、考えたこと、感じたことを書き記すことに個人差がみられる。 ○自分の考えを伝えたり、他人の意見を聞いたりすることを通して、自分の感じ方、考え方を広げたり、深めたりしていく。 ○教員が授業毎に補助発問を追加して行って、様々な議論が起こる土台を作れるようにしていく。 ○毎時間、授業の振り返りを書くようにする。1時間毎に学習したことを振り返らせ、それを積み上げていくことで児童個々の道徳性を養っていく。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
特別活動	よりよく話し合いをすすめる力 行事に意欲的に取り組む力 見通しをもって取り組む力 他者の考えを受容する力 発達段階に応じた成長を目指す力	<ul style="list-style-type: none"> ○学級会等では、話型を提示しながら、話し合いの進め方の学習を続けていく。 ○さまざまな行事にも前向きに取り組む姿がある。めあてをもって達成感が味わえるような指導をしていく。 ○自分の意見の主張にとどまり、他の意見の受け入れや、建設的な話し合いに課題があるので、他者理解を含めて指導していく。 ○係活動の時間を設定すると意欲的に行えるが、主体的に時間をみつけて仕事に取り組めない児童も多い。自分の仕事について、自主的に見通しをもって計画をし、実行する力を身に付けさせる。 ○学級会では、自分の意見を進んで話せる児童が多い。会の進行の仕方や、議題に沿った話し合いの仕方も経験を積みさせていく。 ○クラスや学年の話し合いでは、自分の考えを積極的に発言する児童は多い。しかし、自分の主張が強く、相手の考えを受け入れられないこともある。自分の考えを表現できることに自信をもたせな

		<p>がら、多くの考え（解決方法）があることのよさや人の考えを受け入れる大切さを感じられるように、日々の生活でその都度指導していく。</p> <p>○意識を高め、学校のために自分ができることを考え、行動できるようにしていく。</p>
--	--	--

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<p>課題解決の力 協力して表現する力 分かりやすく表現する力 調べた情報を取捨選択する力 考えたことを実生活に生かす力 情報を活用する力</p>	<p>○課題に対して、解決したいことを調べたり、体験したりして、発表するという流れの学習をグループで行う経験を行う。</p> <p>○グループを少人数にすることや一人ひとりが、より意欲的に活動できるよう設定をしていく。</p> <p>○課題に対して調べ学習をして、体験したことをまとめて、分かりやすい言葉で発表する、という学習のまとめ方を定着させる。</p> <p>○調べて得た情報を取捨選択したり活用したりすることには課題がある。自分の課題と得た情報を照らし合わせたり、発表方法を意識させたりして取り組ませていく。</p> <p>○調べたことを発表するだけではなく、調べて分かったことや考えたことをもとに、実生活や社会のために自分ができることを実践していけるような取り組みを行っていく。</p> <p>○調べて得た情報を取捨選択したり活用したりすることに課題がある。得た情報を照らし合わせたり、有効な情報を意識させたりして取り組ませていく。</p>